



NTTコミュニケーションズ株式会社

プロジェクト名 働き方改革 ～“つなぐ”プロジェクト～

実施予定期間 平成23年4月1日～平成25年3月31日

- 実施目的
- 「人財」である従業員それぞれのワーク・ライフ・バランスを確立するために、多様な働き方改革を推進し、一人ひとりが健康で活き活きと能力を発揮できる企業風土の醸成と環境整備を実現する。
 - ICTカンパニーとして、先進的なノウハウを駆使することで働き方改革を推進し、会社と従業員、従業員同士、会社と社会をつなぎ、社会に貢献する。

先駆的なICTのノウハウを駆使して 自ら働き方を改革し、社会貢献を

応募は、募集広告を見た社員がダイバーシティ推進室に話をもちかけたことがきっかけだった。「当社は歴史が長いため、企業風土において変わりにくい部分もあり、これを契機に働き方を変えていきたいと思いました。また、在宅勤務システムの活用など、社員数8,250人の当社が率先してワークライフバランス(WLB)に取り組み、実現させることができれば、社会に対しても役立つのではないかと。」と同室の西古良子氏は説明する。

働き方改革を進める上で「新しく変えていきたい」と感じる要素が3つあった。まず、女性社員比率が12%の同社において、WLBの取組は育児や介護に関わる一部社員のものと考えられており、全社員に関わる取組との認識があまりないことである。次に、組織が大きいため、業務遂行の過程で多くの部署と調整が必要となり、資料作りや会議に時間を要していたことであった。

さらに、特に率先してリードしたいという目標があった。昨今の情勢からお客様のセキュリティに対する関心は非常に高く、社内の情報セキュリティにも配慮しながら効率的に働ける環境を自ら整備することで、自信を持ってお客様に紹介できるシステム構築を実現することであった。

全社員にとって 大切なワークライフバランス

人事、情報システム、セキュリティマネジメント等の部門が連携して「働き方改革推進ワーキンググループ」が組織され、様々な施策を開始した。

まず、「eワーク制度」と呼ばれる在宅勤務制度を改正。小学3年生までの子どもを持つ一般社員に限定していた対象者を、6年生まで延長し、管理職まで拡大した。これからは男性も含め、多くの社員が通勤時間分を家族との時間や自己啓発の時間として使えるよう、利用を促していく。

さらに、今後経営層から働き方についてのメッセージを発信し、全社的に盛り上げていく予定だ。これと連動して意識改革研修を実施。より時間を意識して仕事に取り組み、会議等を効率的に行うなど、生産性向上に対する意識付けを加速させる。

モバイルワークスタイルで、 場所や時間に捉われず 柔軟に働ける環境を整備

「セキュリティレベルの維持と働きやすさの実現とは相反する課題と捉えられがちですが、こういった課題を解決し、いかにリスクを回避して、自由度の高いモバイルワーク環境を整備するかが重要



ダイバーシティ推進室・西古良子さん(左)、
ダイバーシティ推進室担当課長・田村尚子さん(右)

隙間時間を活用してモバイル
端末で業務

な検討課題でした。」とダイバーシティ推進室担当課長の田村尚子氏は語る。

営業部門では、タブレット端末やスマートフォンを段階的に導入。外出時の隙間時間にメールの送受信や旅費申請手続を行う等、業務を効率化できる環境整備を進めている。重要なデータは端末に残らず、万一紛失した際は遠隔操作で端末内部を消去することもできる。

制度導入に終わらない様々な工夫

同社は、育児等を支援する社内制度の効果をさらに上げるため、育児休業から復帰した社員を対象とするセミナーや、育児休業中の社員向けの職場復帰準備セミナーを開催し、復帰に伴う不安の払拭に努めている。また、社員の家族による職場訪問を実施。会社と家庭、双方の理解が進んだと好評だ。

今後も、社員のニーズに沿った各種施策を実施するとともに、通信、クラウドサービスなどのノウハウを自ら駆使し、誰もが柔軟に働くことのできる制度や環境整備をリードすることで、積極的に社会に貢献することを目指していく。

企業概要

NTTコミュニケーションズ株式会社
所在地：東京都千代田区内幸町 1-1-6
事業内容：電気通信事業等
URL：<http://www.ntt.com/>